

自分の意志で考え判断し表現できる生徒 自他を尊重し変化を前向きに捉える生徒 健康で安全な生活の中で挑戦できる生徒



浜頓別町立浜頓別中学校
学校だより 第7号
R8年10月 2日発行
文責・編集・発行：教頭

MESSAGE

将来は漁師・酪農をやるから、
勉強できなくて平気さ！



将来はユーチューバーになるから、
勉強できなくて平気さ！

まだ、全然本気出してないし～

とりま、高校入ってから考えればいいっしょ

多様性を大切にする世の中になりました。「こうあるべき！」が大きな意味をなさなくなり、進路や生き方も自由度が高くなりました。逆に、自由度が高く、一人一人の生き方が異なるのであれば、一人一人が自分の生き方について、責任をもって考えることが大切になります。

将来は漁師・酪農をやるから、
勉強できなくて平気さ！

将来はユーチューバーになるから、
勉強できなくて平気さ！

まだ、全然本気出してないし～

とりま、高校入ってから考えれば
いいっしょ

事務所等と契約することになるか、個人事業主となる場合がほとんどです。契約に関する事項や確定申告など、しっかりとやらなければならないことが多くあります。「持続可能な産業」という視点も大切です。

結果を求められる場面で、どのようにどれくらい練習すればよいか、自分で自分のことを分かっていますか。

考えた結果、今は決められないなら問題ありません。ただ先送りにしていると進路選択を誤るかもしれません。

いろいろと意見はあるでしょうが、学校教育というのは、社会に出て活躍するうえで身に付けておくといふ力が、ある程度のパッケージになって提供されます。国語や英語の言語力やコミュニケーションスキル、数学の論理的思考、社会や理科の課題発見力、などなど。意識して学習すれば、大人になってから必要となる力だと分かります。

それらの力を図る指標の一つとして、北海道学力コンクールの結果や、前期の評価・評定がお手元にあると思います。思うような結果でなかった時に、ただ叱ってもあまり効果はないでしょう。将来、何をやりたいのか（職業の種類ではありません）。やりたいことを見つけるために何をするのか。また、それを実現するために何をするのか、ということについて、ぜひお子様と話し合っただけたらと思います。

そのことが、お子様が「自分をちゃんと愛せる自分」になるための一歩となるよう、家庭教育、学校教育、生涯教育と手を取り合って進むことができれば、願います。

浜中HPはこちら



1日防災学校（避難訓練）

全校給食



学習に向き合う後期（好機）に

校長 明石 貴宣

前期の終了にあたり、改めて保護者、地域のみなさま、すべての学校関係者に心より感謝申し上げます。本校の教育活動へのご理解とご協力はもとより、生徒一人一人の成長を支える環境づくりにご尽力賜り、本当にありがとうございます。

さて、本日、担任より通知表を手渡しました。今年度より文章による所見を学年末のみとし、前期の学校生活の様子については面談でお伝えさせていただいているため、通知表には「学習のようす」「行動のようす」「特別活動の記録」「出席のようす」を記載しています。特に気になるのは「学習のようす」かと思います。1年生にとっては初めて1～5の評定がつくので、通知表を受け取る時はドキドキしたのではないのでしょうか？

本校では、いわゆる定期テストを実施していません。私自身もそうですが保護者のみなさまの多くは中学生、高校生の時代に定期テストを経験し、成績は定期テストの結果によって判定されていた、とあっていらっしゃるでしょう。当時は生徒も多く、学習や評価に関する考え方も今とは違っていたので無理ありません。

現行の学習指導要領では、生徒の学習の状況を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点で評価することとなっています。これらを総合的に判断するためには、学期に1回の定期テスト一発勝負では無理があります。また、学習内容も知識を記憶することが中心ではなく、知識をもとに考え、判断し、表現することが求められています。こうした背景から、定期テストの一夜漬け一発勝負ではなく、各教科の単元（学習内容のひとまとまり）ごとに実施する単元テストやパフォーマンステスト（実技や発表）、レポートや学習活動時の観察をもとに評価することとしています。単元ごとにテストするので、やり直しもしやすく、学習内容が確実に定着していきやすいというメリットもあります。定期テストでよく見られる「テスト期間だけ勉強する」から「日常的な学習習慣を身に付けていく」へと転換を図る狙いもあります。ただし、何もしなければ定期テストでも単元テストでもメリットもデメリットありません。大事なことは、「どちらのテストが良いか」ではなく「学習にどう向き合うか」です。

評価の真の目的は、学習に生かすことです。そして学習の目的は、生きることです。学校で学ぶ各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間には、生きるためのヒントが満載です。ぜひとも通知表をご覧ください、生きるために学習に向き合う子どもたちの背中を押していただければと思います。よろしくお願いいたします。